## 属人区長のメッセー ジ(2020年8月12 日)

2020/08/12

愛する皆さんへ。イエスが私の子どもたちを守ってくださいますように!

ここ数ヵ月の間、とりわけ衛生上の 危機が起こって以来、「きっとばられるでは、ま現をしばしていう表現をしばしてきました。これは、寄りしているでは、いるとの他者にでは、いるという。というのは、ですれば、では、というがのmnia in bonum(すべて、という射涛にしているというがのがあるというがいかに)という射涛にできるようには、万事が益となるようには、「ローマ8,28)。

この善(益となること)は、すぐに 見える形で現われるわけではありません。時には、理解できないことも あるでしょう。神の近くにいるよう 努力しているからと言って、生活に 伴う通常の疲れや迷い、苦しみを免 真にOmnia in bonum(すべては善のために)と口にするためには、信仰が必要です。また、この信仰に応えることが必要です。それは、自己と他者の痛みに対して、神と人々の愛という、心からの回心によるのです。この信仰があれば、私たちは何らかの形でこの善を実現するために協力することもできるでしょう。

ですから、私たちの信仰が弱まっていることに気づく時には、揺らぐことのない信頼をもって、「主よ、私の信仰を増やしてください (ルカ

17,5参照)と祈りましょう。さらに、信仰と共に愛を、愛と共に希望と喜びを増してください、と。

愛情を込めて祝福を送ります。

あなたがたのパドレ

パンプローナ、2020年8月12日

PDFダウンロード (日本語)

PDFダウンロード (スペイン語)

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkuchou-messeji-2020-8/(2025/12/15)